

登録コード	SSG04609	開講年度	2026				
授業題目	特別研究（地球学ユニット）				担当教員	常盤 哲也	
英文授業名	Special Research（Geology Unit）				副担当		
単位数	6	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期		
講義室					備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				【授業の達成目標】		
	2 6 SSカリ・理学，2 5 SSカリ・理学，2 4 SSカリ・理学						
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち，その妥当性を理論的に説明し，議論する能力				地球学に関する課題についての理解や設定した研究方針に基づいて研究の遂行を行い，研究結果を理論的に説明・議論できるようになる．		
(2)授業の概要	指導教員のもとで2年間の研究計画をたて，フィールド調査や室内実験，そして論文検索を通じて，より質の高い研究と独創性に富んだ成果をめざす．また，学会や研究集会に積極的に参加することにより，その分野の研究水準を学ぶ．地球生物圏科学専攻（地質分野）が主催する研究成果の発表会は，修士1年次の終了時（2月）に修士中間発表会をおこない，1年間の研究の進捗状況とその成果を発表する．また，修士2年の修了の際，すなわち2月初旬に学位論文発表会をおこない，2年間の研究成果を20分間にまとめて発表する．						
(3)授業のキーワード	コミュニケーション能力，問題発見・解決能力，分析能力						
(4)授業計画	談話会ごとに日程と計画が定められる．指導教員とよく相談し，また適宜報告と相談を重ねて進められる．						
(5)成績評価の方法	提出された修士論文と発表会の内容をもとに，学位論文審査委員会（主査1名，副査複数名）が評価原案を作成し，全教員の議論により評価を決定する．						
(6)成績評価の基準	先行研究の理解，それに基づく課題の設定，研究方法の構築と結果，さらに結果に基づく議論が最低限できていれば「可」，十分にできていれば「良」，よくできていれば「優」とする．さらに，研究分野に関連する学会でも高い評価を得ているとみなせるものは「秀」とする．						
(7)事前事後学習の内容	適宜指導する．						
(8)履修上の注意	研究の方針や進捗状況について教員と連絡を取りながら，研究を進めること．						
(9)質問,相談への対応	研究室(理学部C棟410室)で対応できるときにはいつでも対応する．						
【教科書】	特になし（適宜紹介する）						
【参考書】	特になし（適宜紹介する）						